



セクハラ客は

メイドにして

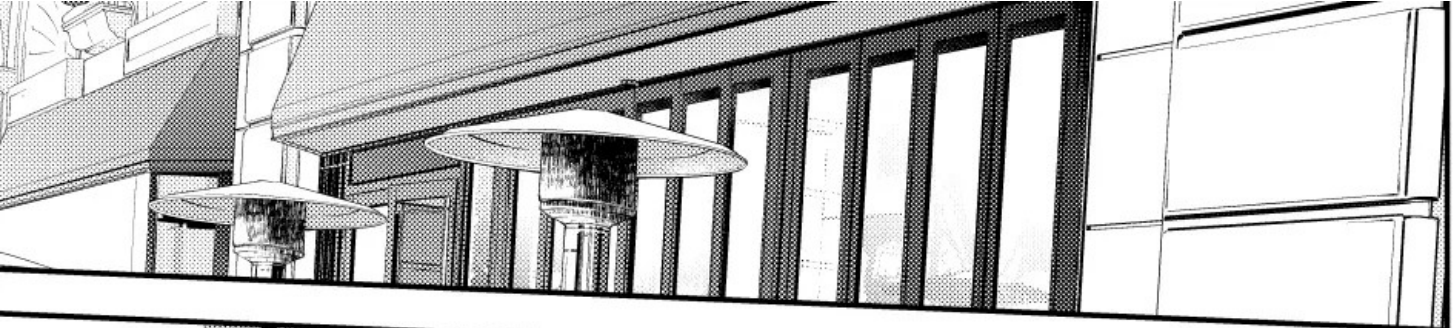
ご奉仕させよ

原作:なの

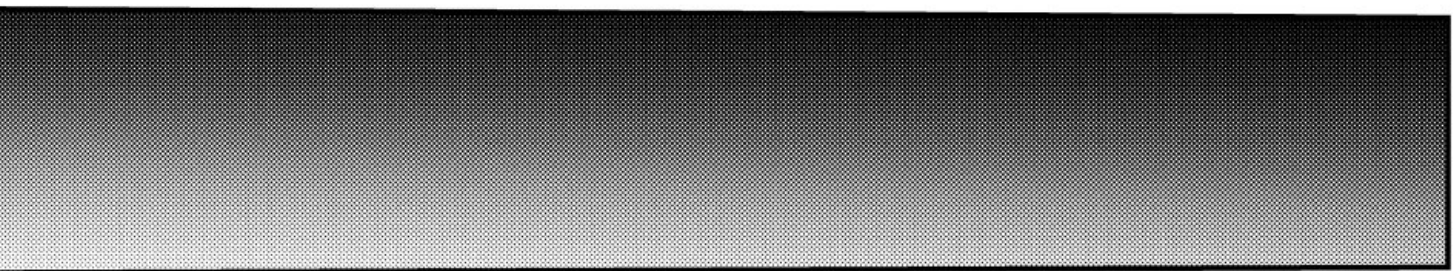
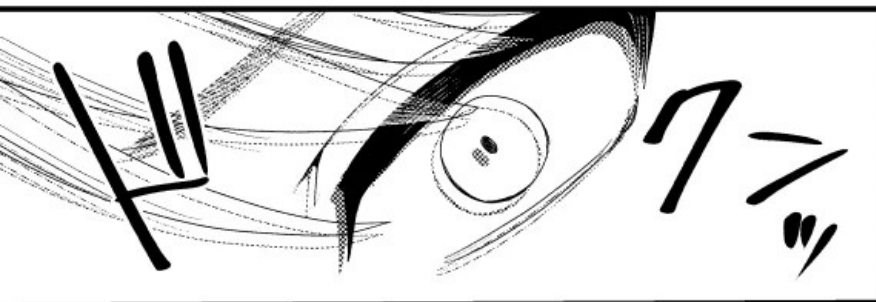
作画:べってい

企画:あむあい

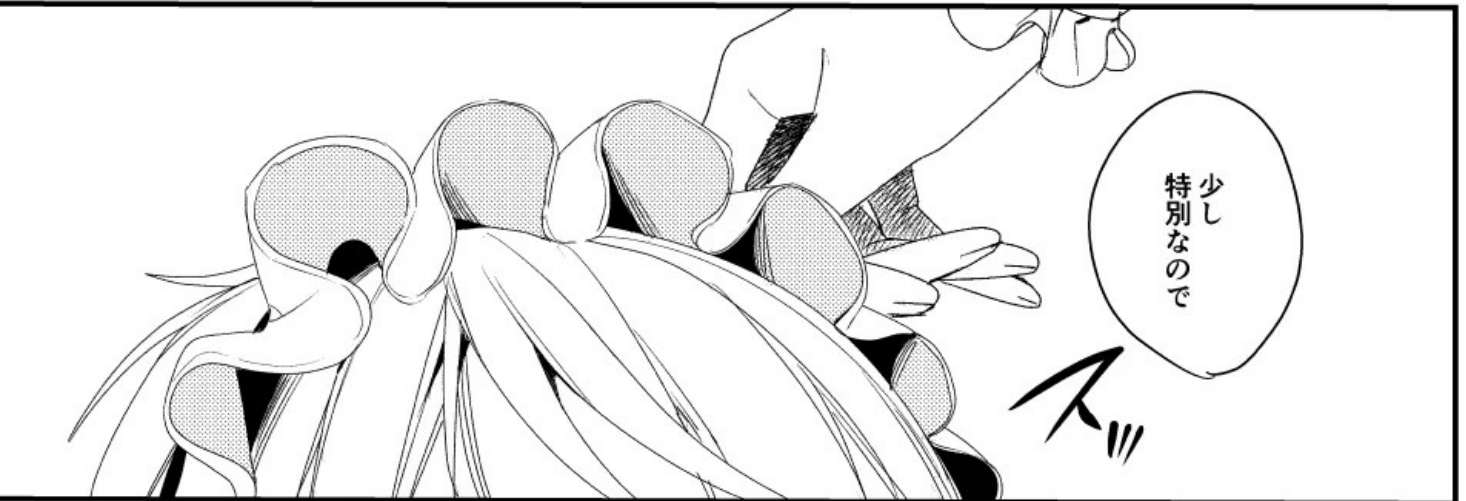
おかし製作所















良い感じで  
ございますね

それでは  
次はこちらを



キゅんっ



俺にブラなんか  
付けて  
どうする気だ！

今しがた  
付けさせて  
いただいた  
カチューシャが  
貴方の頭の中の  
メイドの理想の  
イメージを覗き  
変化させます



ブラは  
その変化を  
促す目印なのです

ほら

始まり  
ましたよ







メイド服を  
どうぞ

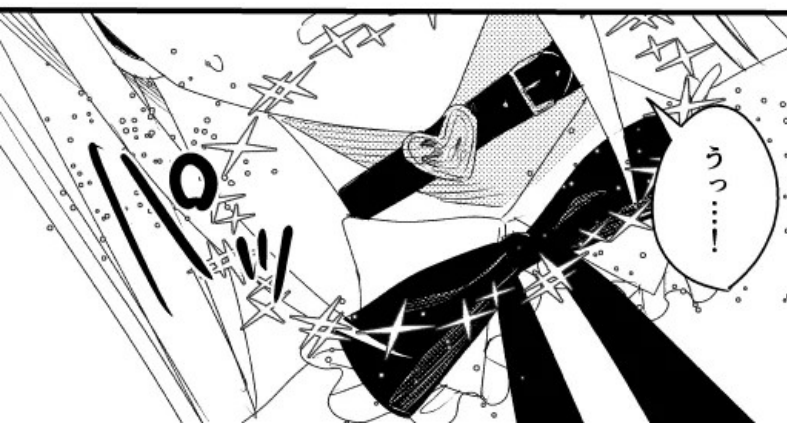


それでは  
お次は



声を  
可愛くするのを  
忘れていました

うわあああ！  
やめろおおお！



うっ……！





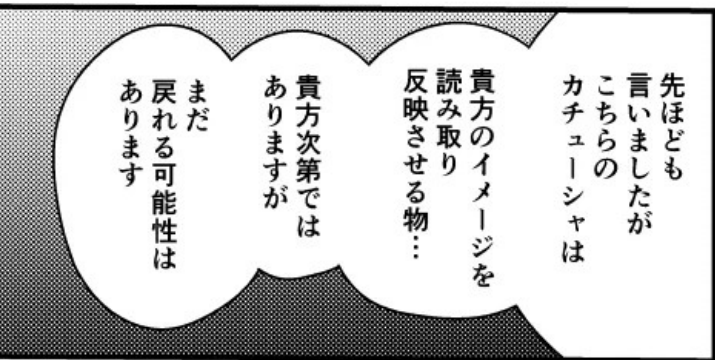
それでは  
最後の仕上げに  
参りましょう

10  
4  
ン



い…  
いやだ…

やめろ…



先ほども  
言いましたが  
こちらの  
カチューシャは

貴方のイメージを  
読み取り  
反映させる物…

貴方次第では  
ありますが

まだ  
戻れる可能性は  
あります



そうか！

元の自分の  
姿を思い  
浮かべれば！

11  
4  
ン



さあ…これが  
貴方の姿です…

ただし  
まだ足りない…

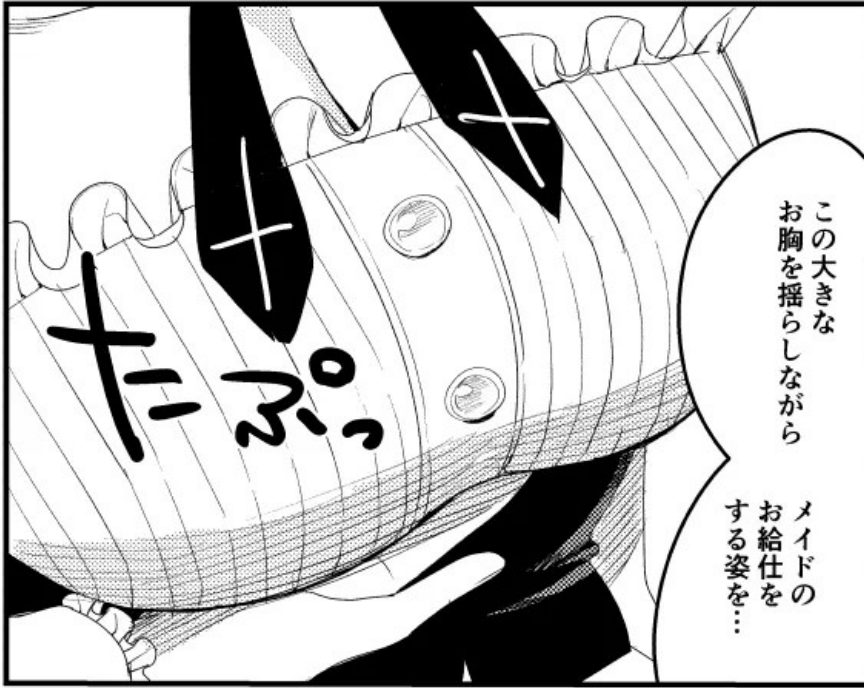
いえ…

まだ  
残っている  
場所がありますね？



ほら…  
想像してみてください…

こんな  
可愛い姿で  
お店を  
走り回る姿を…



この大きな  
お胸を揺らしながら  
メイドの  
お給仕を  
する姿を…

たぶっ



うっ…  
集中しろ…

集中…

いっ…



ほら…  
一度で良いから  
目を開けて

貴方の可愛い姿を  
見てみましょう？

元に戻ってしまおうと  
もう見れない  
ですよ？



なんだ…  
今の感覚…

んっ…♡

せつ…



どうせ  
戻るんだから  
一度だけ  
なら...?

一度だけ...

はっ  
はっ  
はっ



【女の子】だなあ...

ああ...  
すげえ可愛い  
俺好みの

はあ

はあ

はあ



ああ...  
ダメだ...!

ジュウウウ



ふふ...  
今目の前の  
貴方を  
自分で  
女の子だと  
思いましたね?

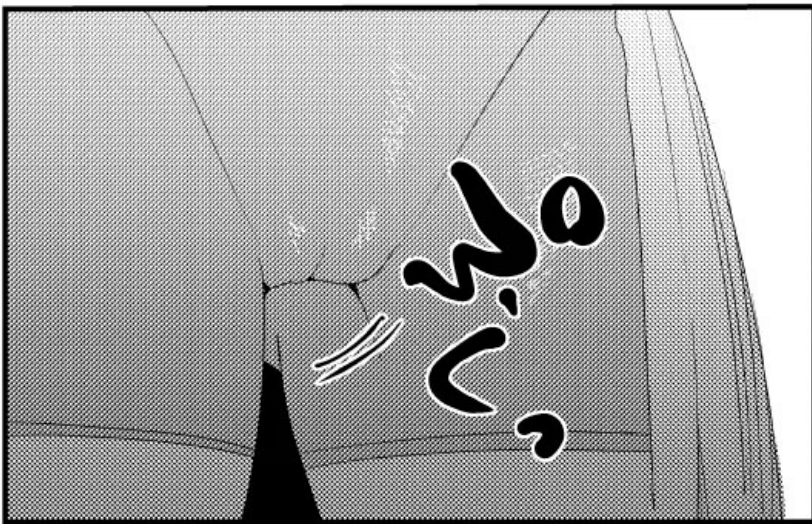
...!!?



違う!

やめろ...

ジュウウウ...



そうです...

貴方は可愛い女の子なので、そんなものは要らないのですよ？

きちんと女の子の証が出来ましたね  
これで貴方も...

いえ  
邪魔なものになくなったのでこちらも用意しないといけませんね

うっ...  
なんだ...  
腹の中が...



本当に立派なメイドです

さあこれで

これからは一緒に頑張りましょうね



アッ...



アッ...



後は新しいお名前も決めないといいけませんね

そうですね...

立派なお胸をしているので

ミルクちゃんにしましょう

よろしくお願ひします

ミルクちゃん



誰がメイドなんて！

アッ...

アッ...

うっ... 頭が...

それに何だか眠気も...



アッ...



だれ... が... ミルク...



もう休憩時間  
終わりだよ！





あれ？

3ヶ月？

もうそんなに  
立ったんだっけ…？

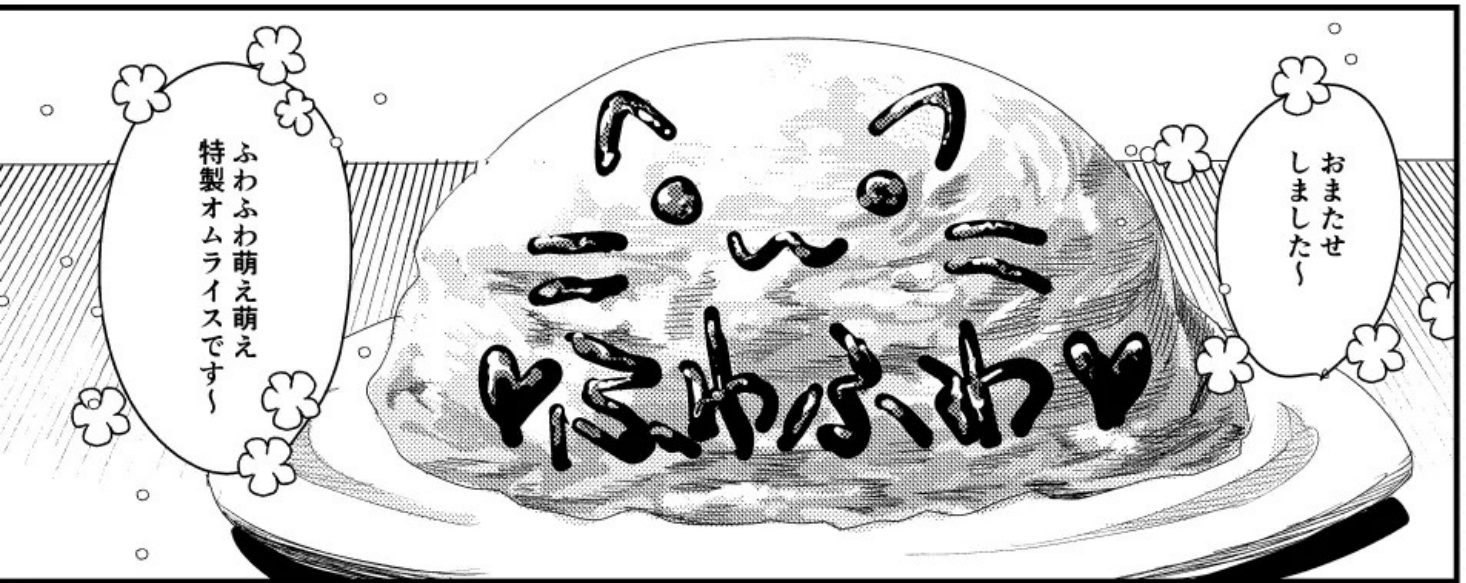
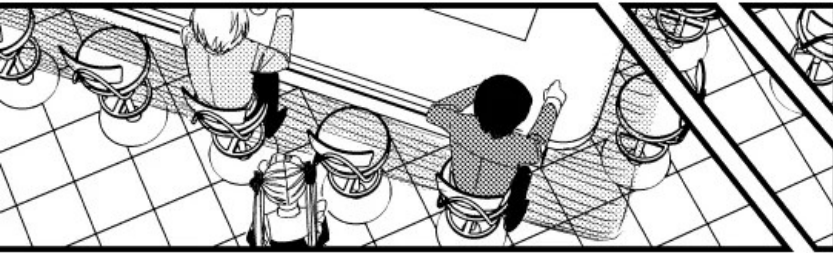


なにそれ  
変なの

ミルクちゃんも  
お店で働き始めて  
3ヶ月なんだから

しっかり  
しないと  
店長に  
怒られちゃうよ？

そうだねー  
気をつけるー



おまたせ  
しましたー

ふわふわ萌え萌え  
特製オムライスですー



ありがとう！

今日も  
おっぱい大きいねえ

ミルクちゃん

もう  
ダメですよ  
ご主人様ー

女の子に  
直接そんなこと  
言ったらー

いやー  
ごめんごめん

本当に  
大きいもん  
だからさー



手が  
当たっちゃった

あつごめん  
ごめん



はあ、  
あのお客様

いつも私の  
おっぱい  
大きい大きいって  
困っちゃうな



きゃっ！



うっ…  
セクハラ…？

何か  
忘れてる  
ような…



気を付けて  
くださいね  
ご主人様  
セクハラに  
なっちゃい  
ますよ？



また  
お客様に  
セクハラ  
されちゃった？



お疲れ様



そうなん  
ですよ

おっばい  
大きいとか  
言われて

挙句にお尻に  
タッチされちゃい  
ますし

困っちゃい  
ますよ

それは  
大変だったねえ



えへへ…

私ってそんなに  
ドジだった  
かなあ…?



でも  
ミルクちゃんも  
3ヶ月でここまで  
成長してくれて

助かってるよ

最初はあんなに  
ドジっ娘だった  
のにねえ



さっきから  
頭の中に霧が  
かかっているみたい

モヤモヤする…



そういえば  
今日の夜は  
遂にアレのデビューね

アレ…?

なんだっけ…



忘れちゃったの？  
夜の特別  
ご奉仕よ？

楽しみに  
してたじゃない

そ  
うでしたっけ？



なんだろう…  
凄く胸が  
ドキドキして  
ざわざわする…

はい…



じゃあ…  
今晚から  
よろしくね



こんな個室で  
特別なご奉仕って  
なんだろう…？

今日の特別な  
ご奉仕を  
してくれるのは  
ミルクちゃんです



よく  
いらっしやい  
ました  
ご主人様



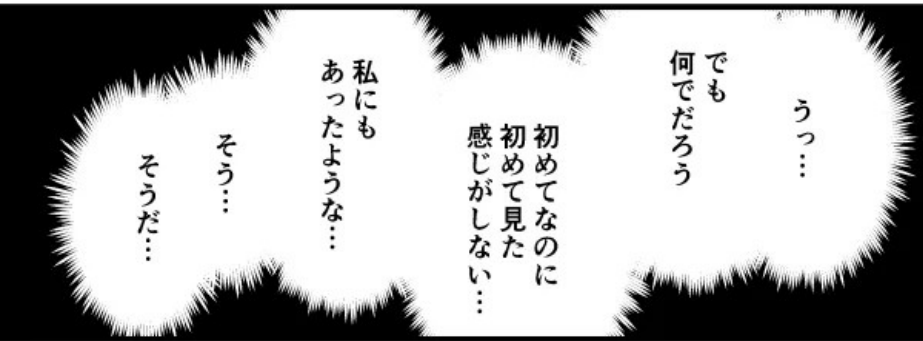
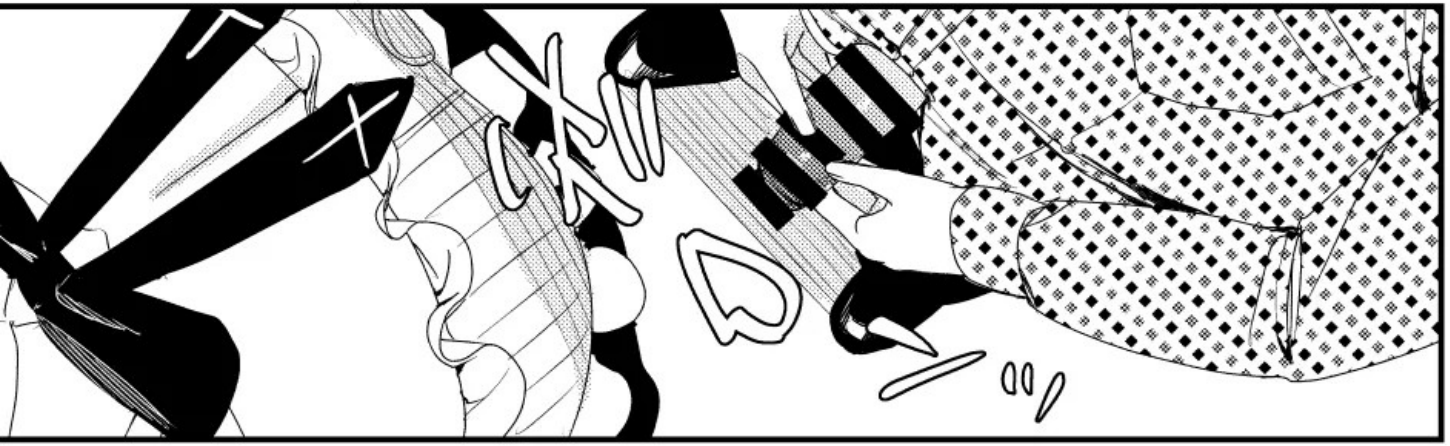
き…  
今日初めて  
ご奉仕させて  
いただく

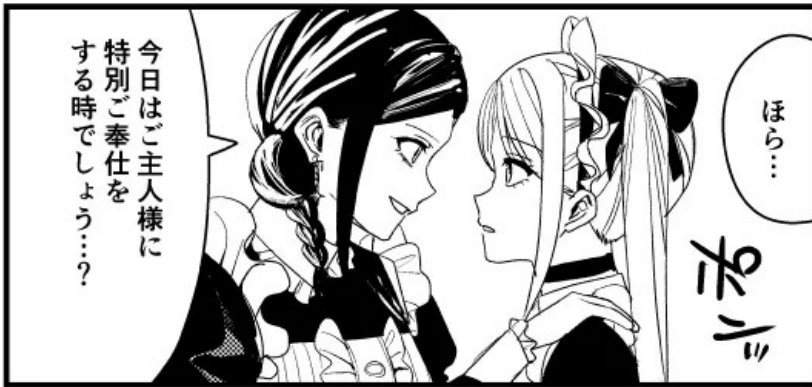
ミルクと  
申します

よ…  
よろしく  
お願いします



この  
お時間からは  
選ばれた  
ご主人様に  
特別な  
ご奉仕を  
致します







ごめんなさい！

取り乱しちゃいました！

違う…

こんな事を  
言いたいんじゃない…



申し訳  
ございません  
ご主人様

初めてで  
少し困惑して  
しまった  
みたいですが

もう  
大丈夫で  
ございますので

引き続き  
お楽しみください

そうだったんだね  
ちょっと僕も  
驚いちゃったよ



おいやめろ  
近づくな！

はーい  
お任せください！



ご主人様の  
ご注文は

こちらでしたよね？

んんん



それでは失礼しますね…

おほ〜！  
やっぱりミルクちゃんのおっぱいは一流だなあ〜！



ミルクちゃんのおっぱいは柔らかくて気持ちいいよ…

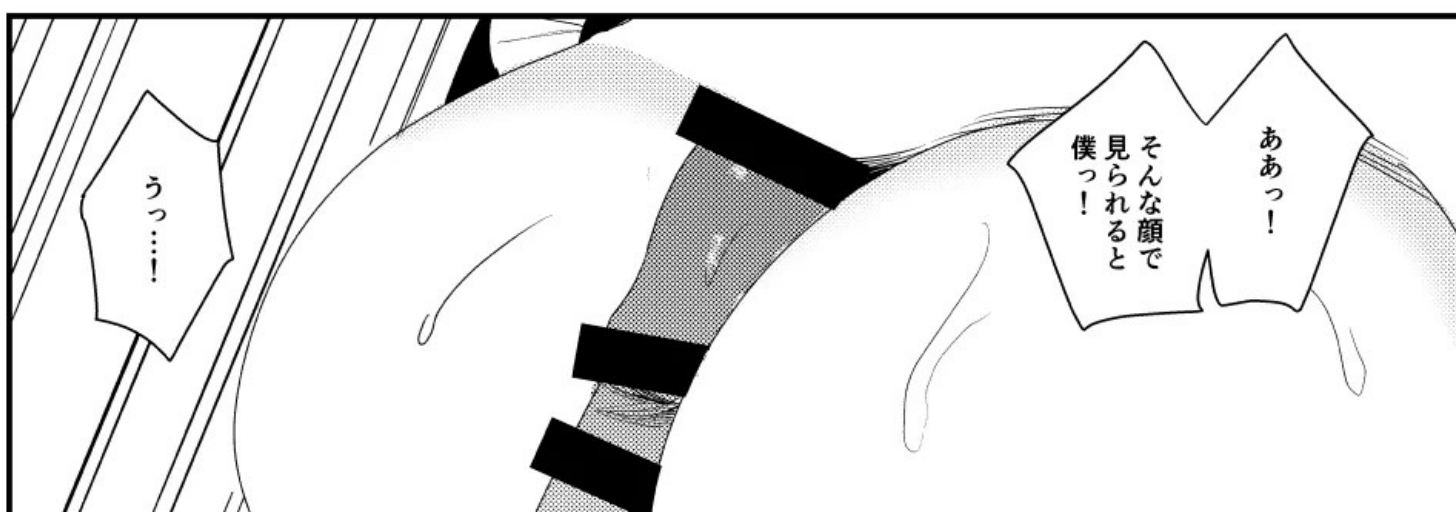
ふふ… 我慢出来なくなったら…  
すぐに出しちゃってもいいんですよ…？



気持ち良いですか？

んっ… どうですか…？

うっ… クセえ…  
何で俺がこんなこと…



うっ…！

ああっ！  
そんな顔で見られると僕っ！



うわっ！

きゃっ！



ミルクちゃんのおっぱいが気持ちよかったお陰だよ

ご主人様に喜んでもらえて...  
ご主人様のお役に立てたのなら本望です

って違う！  
なんだこれ!?



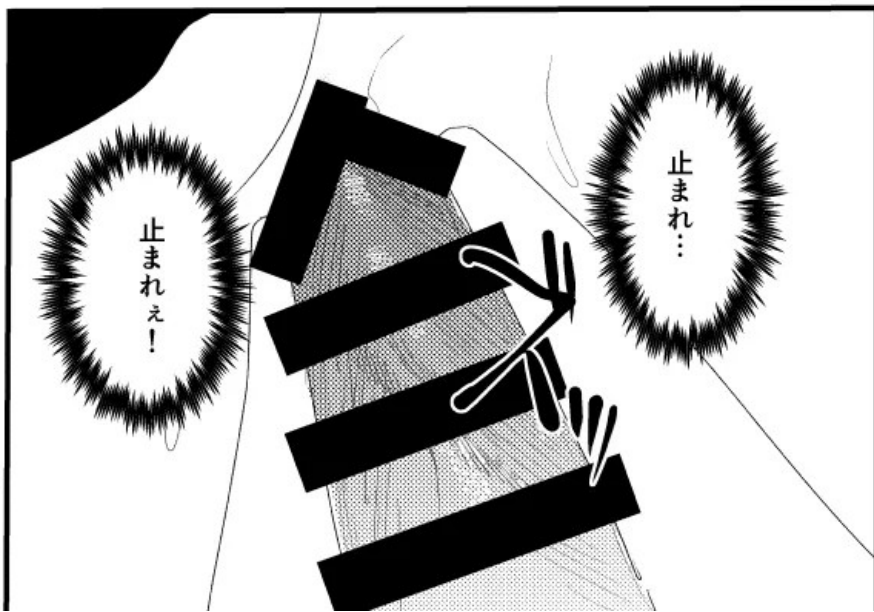
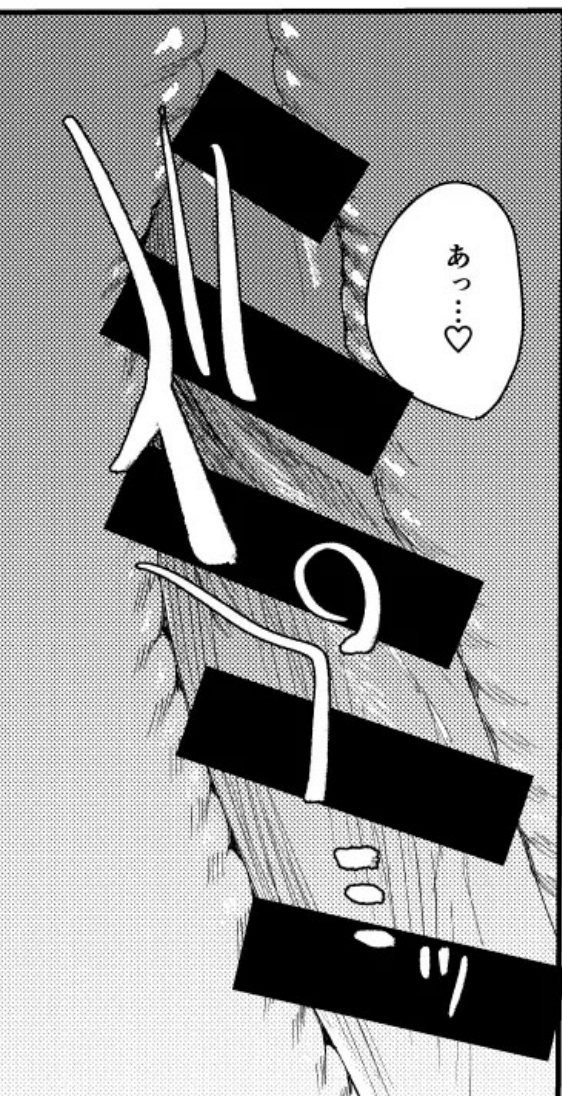
ふう...  
妻かった...



勢いが凄くておっぱいの中に  
おちんちん埋もれちゃってるのに

精子溢れて  
来ちゃいました







すぐ  
出るところ  
だったよ

ふわふわで  
さっき出して  
なかったら

とっても  
締まりが  
良いのに

ああ…  
妻い

ふふ…  
ありがとう  
ございます

アッ  
アッ



それでは  
ゆっくり  
動いて…

いきますね…

アッ  
アッ



ご主人様が  
一番奥に  
挿入っちゃいました…♡

うう…  
膣内に  
挿入っちゃった…



んっ…♡  
痛く…

ありませんか…?  
ご主人様?

んっ…♡

やめ…  
動くなあ…

アッ  
アッ



んっ…♡  
気持ちよくなって  
来ました♡

私も…  
ご主人様のお  
ちんちんに  
突かれて…



良い感じだよ

それは…  
良かったです…♪  
それでは  
少しだけスピード  
上げさせて  
いただきますね♪



あっ…  
んっ…♡  
とまってえ…♡

快感で…  
わたし  
おかしく  
なっちゃう♡



やめてえええ!

出さないで  
ええええ!



うっ!  
ダメだ!  
もう  
出る!

精液っ…  
私の腔内に  
出しちゃって  
ください♡

はいっ…♡  
ご主人様の  
んっ…♡



出てるっ…♡

ご主人様の  
熱いのが

私の膣内に  
出てますぅうううう！



ふう...  
ふう...  
それでは  
一度抜かせて  
いただきますね...

はあ...  
はあ...  
はあ...  
終わった...  
これで  
解放される...

あっ...!



んっ...!



んほあ!?





大丈夫？

も…  
申し訳  
ありません…

んっ…

最後に  
ドジって  
しまいました  
頭が真っ白に  
なって  
しまいました…



大丈夫だよ

ミルクちゃんのおっぱいに包まれて

逆に  
ラッキーな  
ぐらいだよ

そ…  
それでは

しばらくこのままで居させて貰って

大丈夫でしょうか…？

もちろん！



ありがとうございます

ああ…

良かった…

ご主人様に粗相を  
してしまったかと思っ  
ちゃった…

イッた  
からかな…

なんだかさつきより頭の中も  
スッキリしたし…

ご主人様に喜んで貰えて  
良かった♪





中出しは  
しちゃったけど  
店長さんが  
言うには  
このお店では  
妊娠もしない  
らしく

母乳が出るのは  
貴方が望んだ形で  
私の体質なんだって  
不思議



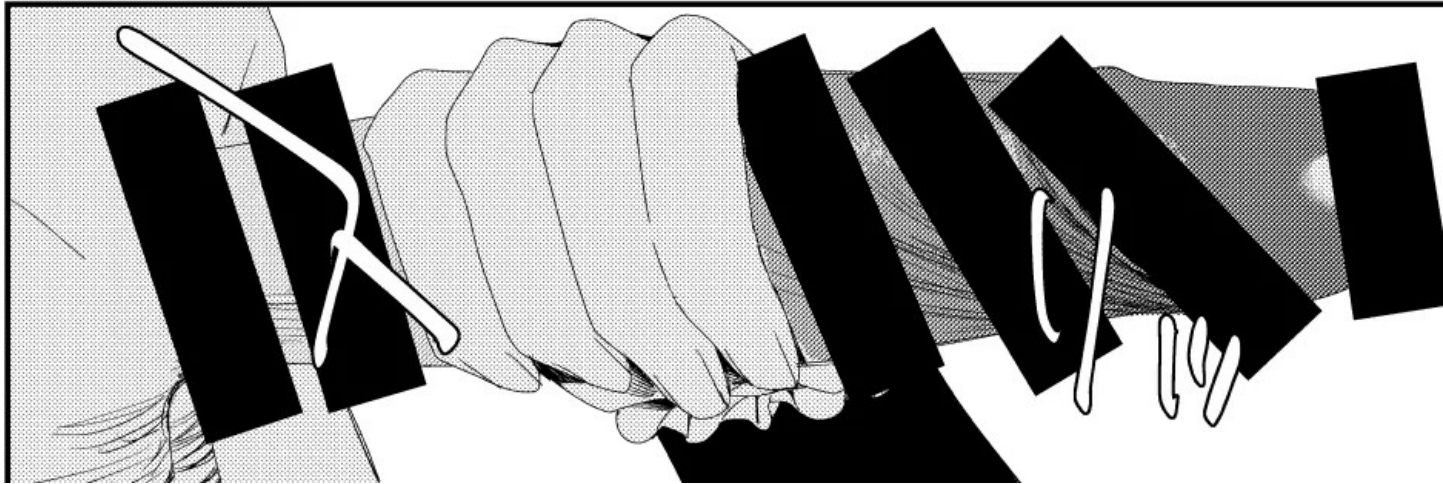
そして私は  
今も率先して  
特別ご奉仕に  
参加している

このミルクティーも  
その一つで  
私にしか  
出せないメニューで  
凄く人気なんですよ?

はっ



そして  
この後は……



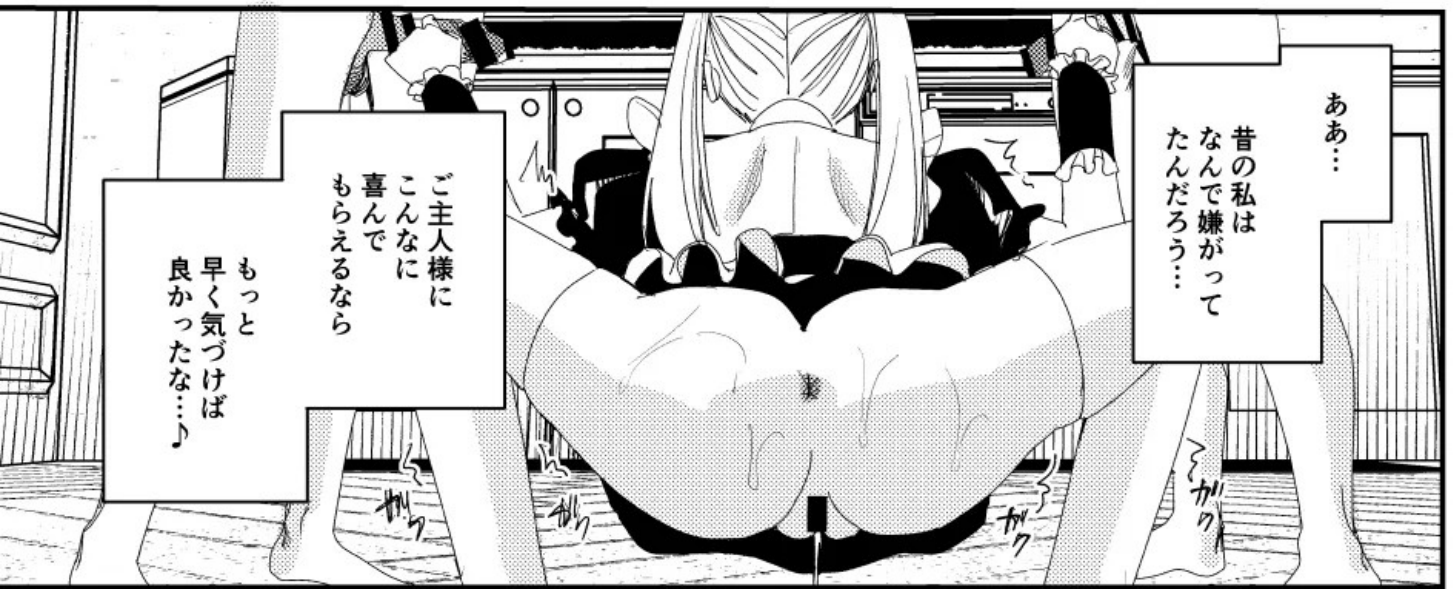


ご主人様たち  
どうでしょうか♪

私も立派な  
メイドになって

特別ご奉仕も  
一度に複数人  
担当させてもらえる  
ことになって

今では  
こんなご奉仕  
しています



ああ…

昔の私は  
なんで嫌がって  
たんだろう…

ご主人様に  
こんなに  
喜んで  
もらえるなら

もっと  
早く気づけば  
良かったな…♪



もっと  
もっと  
ご奉仕して

素敵なメイドに  
なりたいな♪